

Monthly

| Yamagata North Rotary Club 2025-2026 |
国際ロータリー 第2800地区 山形北ロータリークラブ

Rotary
District 2800

REPORT

February 2026

よいことのために
手を取りあおう



野村会長による祝舞「高砂の浦」
1月「亀松閣」にて

出逢いは宝 未来につなごう
2025~2026年度 山形北ロータリークラブ会長 **野村百合子**
Yuriko Nomura

第2707回
新会員卓話/会員卓話
中村祥之会員 吉田眞一郎会員
「山形北 RC の歴史について」

第2708回
IM インターシティミーティング

第2709回
ひな祭り例会

SINCE
58th
1968
YAMAGATA NORTH RC

2800 地区のテーマ | 良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために
山形北ロータリークラブのテーマ | 出逢いは宝、未来につなごう

会長 / 野村百合子 | 幹事 / 岡 誠司 | 事務所 / 山形市香澄町 2-9-21 (株)メコム内 電話 090-1445-4120 FAX 642-1618

第2707回 2026年（令和8年）2月5日（木） 12：30 PM 場所：ホテルメトロポリタン山形

新会員卓話 中村祥之会員



中村祥之さん

中村祥之会員による新入会員卓話が行われ、入会動機や自社の企業概要を紹介しつつ、ご自身の父、祖父、大叔父がそれぞれ山形北 RC の歴代会員及び現会員になっていることを紹介された。代表取締役社長を務められている株式会社マルナカ中村商店は「食品原料販売業」として、そのまま口に入るモノではなく原料を販売しているそうです。主な取引先としては例会場であるホテルメトロポリタン山形をはじめ、県内大手食品工場や製菓工場（糖衣・点滴向けブドウ糖）、製菓製パン・そば・ラーメン・レストラン・小売・飲食店など県内全域・仙台地区を中心に取引先数約 800 を数えるそうです。クラブの繋がりとしては、山形北ロータリークラブのチャーターメンバーとして母方の祖父月井愛次郎さんがいらっしゃったそうです。クラブ創設時から現在至るまで長年にわたるご縁に、これからは私も北クラブのメンバーとして 祖父・伯父・父 同様にご厚情いただけましたらありがたいです。と述べられた。

会員卓話 吉田眞一郎会員 「山形北 RC の歴史について」



吉田眞一郎さん

吉田眞一郎会員より、ご自身の 34 年間に渡るロータリアン生活において、当クラブ入会以前の山形青年会議所時代よりお世話により、入会後にもご指導いただいた寺島俊昭氏との関わりを通じて、

当クラブの歴史を紐解いた。1968 年 3 月 28 日に山形市内で 3 番目のクラブとして、当時の山形銀行宮町支店に取引があった会社を中心として発足以来、ご自身もさまざまな事業に関わった中で、特に印象に残っているのが、2008 年 3 月に当時の熊谷誠会長の下、の当クラブ 40 周年記念式典を開催するに当たり前年の 2007 年から準備をしていた。この時の記念式典の責任者になっていた寺島俊昭さんの下で副責任者を努めることになったが、この時山形青年会議所時代に霞城公園周辺を会場に開催した「山形市内中学校駅伝大会」の時にゲストとして来ていただいた君原健二氏に、記念講演をお願いし快諾いただき準備を行っていたが、その年の 12 月に寺島俊昭氏が急逝され、自分も大変ショックを受けたが、故人の意思を継いで実質的な責任者として無事開催にこぎつけることができたのが、大きく印象に残っているとお話しされた。

このように、当クラブはまもなく創立 60 周年を迎えることになる歴史あるクラブなので、今後とも会員の皆さんとともに活動していきたいと述べられた。



伊藤誠副会長挨拶

会長所用欠席のため、副会長の伊藤誠副会長が会長代理として挨拶を行った。出席 73 名という多くの参加は、会長・幹事をはじめ会員一人ひとりの活躍の積み重ねの成果であると感謝を表明。クラブ奉仕とは「他の会員のために何かをすること」であり、各自ができる奉仕を考えることでロータリーの楽しみ方が広がると呼びかけた。また、山辺ロータリークラブによる IM の案内を紹介し、「世界平和」をテーマに学び親睦を深める良い機会になると期待を示した。続いて本日の卓話者である中村祥之会員、吉田眞一郎会員を紹介し、北クラブの歴史と未来を考える有意義な時間にしたと締めくくった。

Secretary's Report



キョエイさんへの奨学金お渡し



キョエイさんお礼の挨拶



IM 実行委員長の石澤さん、副実行委員長の渡辺さん

第2708回 2026年(令和8年)2月21日(土) 14:00 PM 登録開始 場所:パレスグランデール
I. M. インターシティ・ミーティング



2026年2月21日(土)パレスグランデールを会場に山辺ロータリークラブがホストクラブとなり、『世界の良心』～平和のために～をテーマとしてインターシティ・ミーティングが行われました。

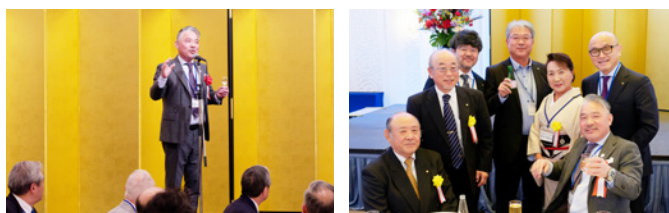
山形北ロータリークラブからは37名のメンバーが参加。世界万国の平和を希求した安達峰一郎博士の生涯」というテーマで九州大学名誉教授柳原正治氏による講演が行われました。メキシコ公使、ベルギー大使、フランス大使と外交官として経歴の中から世界万国の平和を希求し世界の裁判官として正義の実現を目指した安達峰一郎博士(山辺町出身)。ドイツによるベルギー占領中に亡命政府が拠点を置いたフランス・サンタドレスでの安達博士の足跡を追った柳原氏がその偉業を説かれました。



記念コンサート Sugar Sisters (佐藤容子・佐藤寛子)
 「美しく響く日本のうた・心のハーモニー」
 山辺町出身、ともに東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程独唱科修了日本歌曲の分野で互いに最高峰の評価を受ける実力派姉妹ユニット。



柳原正治氏は、安達博士の足跡をご自身で訪ねられた体験を交え、多角的な視点から講演されました



伊藤三之バスターガバナーによる乾杯

第2709回 2026年(令和8年)2月26日(木) 12:30 PM 場所: 亀松閣

ひな祭り例会



2026年2月26日(木) 亀松閣を会場に、山形北ロータリークラブ恒例の「ひな祭り例会」が会員58名(新会員8名)、奥様3名の参加で、賑々しく開催されました。

野村会長挨拶



3月3日はひな祭り、別名「桃の節句」と呼ばれ、子どもたちの健やかな成長と健康を願う日本の美しい年中行事でございます。かつては、病気や怪我を避けるため、人形で体を撫でて穢れを移し、それを川に流して厄払いをする「流し雛」という風習がございました。やがてそれが飾り雛へと姿を変えたと伝えられております。

さて、ここ亀松閣様におきましては、8月28日の朝粥例会を皮切りに、新年会、本日のひな祭り例会、最終例会、さらに昭和48年より山形県警の皆様と共に開催してまいりました亀松会など、年5回の会合・会食を重ねております。このご縁について、新会員の皆様のために少しご紹介申し上げます。この建物は明治14年、明治天皇が山形に御来臨の折、二泊御滞在されるために建てられたものでございます。その後、明治22年に民間へ払い下げられ、初代笹原さだお様が料亭亀松閣として開業されました。さらに、二代目笹原敏明様は58年前、山形北ロータリークラブのチャーターメンバーでいらっしゃいました。そして三代目笹原智美様も本クラブの会員となられ、こうして亀松閣様と山形北ロータリーとの絆は、より一層深まってまいりました。本日も多数ご参加を賜り、誠にありがとうございました。あらためまして、心より感謝申し上げます。



前、鈴木則夫会長の奥様より鈴木家に伝わる雛人形の説明をいただきました。



紫宸殿飾り(寛政びな)



新会員 佐藤久明さん (有)サイター自動車販売

山形では、紅花などの特産品を京都へ運び、その帰りにお雛様を求める風習がありました。お雛様は家族の宝として受け継がれ、時代により飾り方や構成も異なります。男児の兜や侍大将を飾る地域色も見られ、河北では公開する習わしがある一方、山形ではあまり人に見せない文化もありました。近年は店舗での展示も増え、にぎわいが広がっています。鈴木家に伝わるお雛様も代々大切に守られ、貴重な文化として親しまれています。

点鐘/12:30 ロータリーレート/1ドル=154円 会長挨拶/野村百合子 本日出席/58名(会員総数99名)

クラブ会報アーカイブ
各例会のニコニコBOXは
こちらのQRコードからご覧下さい

■クラブ会報アーカイブ



■ニコニコBOX

